

# 稻・麦・大豆作等指導指針

令和4年3月

兵庫県農政環境部

# 目 次

## 第1章 稲作

1 稲作の栽培指針	2
(1) 品種選択	2
ア 品種選択の考え方	2
イ 奨励品種等の適応性	3
ウ 奨励品種等の特性	5
エ 飼料用・WCS・多収穫米用の特性	8
(2) 土づくり、排水対策等	11
ア 土壌の維持すべき目標値	11
イ 有機質資材の施用方法	11
ウ 緑肥の利用方法	12
エ 土づくり肥料（土壌の化学性を改善する土壌改良資材）の施用方法	14
オ 深耕の実施（作土深の確保）	14
カ 排水対策	15
キ ほ場整備田の早期熟田化対策	16
ク 漏水防止対策	17
(3) 栽培基準	19
ア 機械移植栽培	22
イ 直播栽培	32
ウ 施肥基準	40
エ 技術情報	48
(4) 収穫・乾燥・調製	61
ア 収穫	61
イ 乾燥	64
ウ 調製	66
エ カントリーエレベーターの品質事故防止	67
(5) 主要病害虫	68
(6) 低コスト生産の取組	74
(7) 栽培履歴記帳等の実施	74
(8) 環境創造型農業（人と環境にやさしい農業）の推進	75
(9) 収量及び品質目標	79

## 第2章 麦作

1 麦作の栽培指針	80
(1) 品種選択	80
ア 奨励品種等の解説	80
イ 奨励品種等の特性表	81
(2) 土づくり、排水対策等	82
ア 有機物・土づくり肥料の施用	82
イ 排水対策事例	82
(3) 栽培基準	86

ア	多条（ドリル）播栽培	86
イ	高タンパク小麦栽培（パン用、醤油用）	87
ウ	麦作における一工程浅耕播種方法のポイント	87
(4)	収穫・乾燥・調製	92
ア	収穫	92
イ	乾燥・調製	94
(5)	主要病害虫	99
(6)	雑草防除	101
(7)	収量及び品質目標	102

### 第3章 大豆作等

1	大豆作の栽培指針	103
(1)	品種選択	103
ア	品種選択の考え方	103
イ	奨励品種等の解説	103
ウ	奨励品種等の特性表	104
(2)	土づくり、排水対策等	106
ア	ほ場の選定	106
イ	耕起・砕土・整地	106
ウ	有機物・土づくり肥料	106
エ	排水対策	107
(3)	普通大豆の栽培基準	108
ア	播種作業と苗立ち確保	108
イ	施肥	109
ウ	中耕・培土及び適湿の保持	112
エ	不耕起・狭条密植栽培	112
オ	収穫	116
カ	乾燥・脱粒	117
キ	選別	117
(4)	黒大豆（丹波黒）の栽培基準	120
ア	播種作業と苗立ち確保	120
イ	施肥	122
ウ	中耕・培土及び適湿の保持	124
エ	除草体系	125
オ	葉取り作業	125
カ	収穫・乾燥・脱粒	125
キ	選別	130
(5)	主要病害虫	132
(6)	雑草防除	134
(7)	収量目標	134
2	小豆作の栽培指針	135
(1)	品種選択	135
ア	品種の解説	135

イ 品種の特性表	135
(2) 栽培基準	136
ア 播種	136
イ 施肥	138
ウ 除草	138
エ 排水対策	138
オ 中耕・培土	138
カ 収穫・乾燥・調製	138
キ 機械化体系	139
(3) 主要病害虫	141

#### 第4章 生育・収量調査法

1 水稻	143
(1) 調査場所の選定	143
(2) 調査項目	143
2 麦	151
(1) 調査場所の選定	151
(2) 調査項目	151
3 大豆	153
(1) 調査場所の選定	153
(2) 調査項目	153
4 麦、大豆における明きよ等で作付けしない部分の考え方	155

#### 第5章 異常気象・災害対策

1 水稻の異常気象・災害対策	157
(1) 夏季の高温による品質低下と品質向上対策	157
(2) 異常気象による障害と病害虫	164
(3) 異常気象及び災害時に備えた一般的技術対策	165
(4) 異常気象及び障（災）害時に備えた技術対策	166
(5) 低温・日照不足・多雨・高温による障害の発生機作	170
(6) 米の種々の稔実障害	172
2 麦の異常気象・災害対策	173
(1) 異常気象及び災害時に備えた一般的技術対策	173
(2) 主な障害の見分け方	174
3 大豆の異常気象・災害対策	178
(1) 異常気象及び災害時における一般的技術対策	178
(2) 異常気象及び障（災）害時に備えた技術対策	178
* その他参考となる技術対策情報等	180

#### 第6章 関係法令

1 主要農作物種子生産条例	182
2 種苗法	183
3 農産物検査法	184